

# TAK50端子

最先端の0.50mmソリューションであるTAK50端子は、コンパクトなオートモーティブ信号や高周波データ用途向けに最適化されています。ロックングランスバリエーションには、電気的パフォーマンスを強化し、耐久性を向上させる革新的なツーピース設計が使用されており、コンポーネントサイズの小型化に役立ちます。



## 利点と特徴

コネクタサイズを縮小することで、スペースと重量を節約しながらコンポーネントの小型化をサポート

0.50mmの端子により、コネクタコンポーネントサイズを0.63mmの端子システムよりも30~50%縮小できます。

### 製品の寿命全体を通じて一貫した電気的パフォーマンスを維持

端子は、ステンレス鋼ハウジングで保護された2つの接点で構成されています。この設計によって時間の経過に伴う緩みが抑えられるので、垂直抗力の減少が最小限にとどめられ、信頼性が向上します。

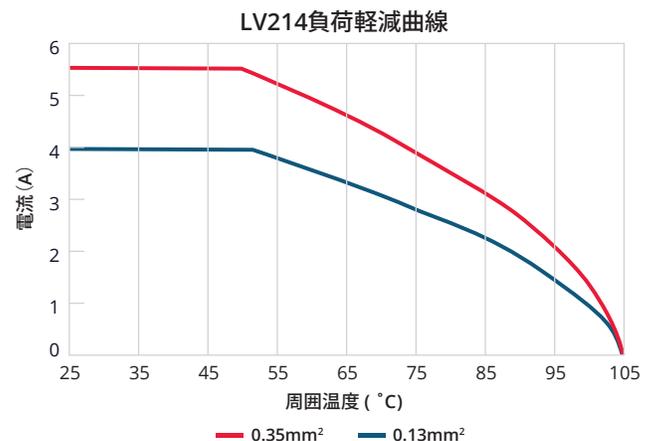
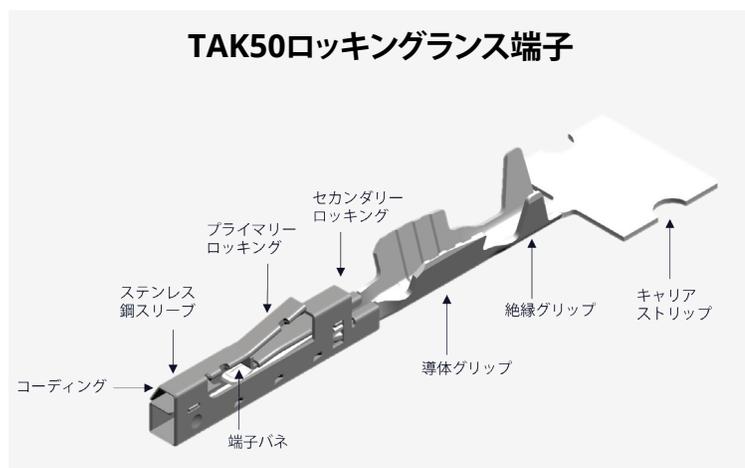
端子サイズ	0.50mm
端子スタイル	ロックングランス
メッキ	錫
嵌合相手	AK標準のキャビティ設計と標準嵌合ブレードサイズ (0.50×0.40mm)
認証標準	LV214, GMW3191, USCAR-2, USCAR-21
電流(最大)	5.0A
圧着ワイヤーサイズ	0.13~0.35mm <sup>2</sup>
動作温度	-40~+105°C

### 頑丈で信頼性の高い接続を提供

リードイン機能とコンタクトバネ部の保護機能が統合された堅牢なツーピース設計によって損傷リスクを低減し、全体的な電気特性を改善しながら長期的な信頼性を向上させます。

### 偶発的な切断を防止しながら組み立て作業を簡素化

ツーピースボディ設計によって、嵌合力の低減と保持力の向上が可能になります。



# TAK50端子

## コネクタオプション



### ConnTAK50コネクタ

標準AKインターフェース  
表面実装 (SMT) ヘッダー  
検証:

- LV214
- USCAR2
- GMW3191



### stAK50hコネクタ

Molex設計  
モジュラー設計  
以下を使用するハイブリッドコネクタシステム:

- TAK50
- MCON1.2
- MCP2.8

検証:

- LV214
- GMW3191



### MX-DaSHコネクタ

Molex設計  
モジュラー設計  
以下を使用するデータ・信号ハイブリッドコネクタシステム:

- TAK50
- MCP2.8
- H-MTD\*

検証:

- USCAR

\*H-MTDはRosenbergerの登録商標です

## 仕様

### 参考情報

パッケージング: リール

端子スタイル: ロッキングランス  
(クリーンボディも利用可能)

嵌合相手: AK標準のキャビティ設計と標準嵌合  
ブレードサイズ (0.50×0.40mm)

端子検証: LV214

追加の検証: GMW3191, USCAR-2, USCAR-21

振動/動荷重の分類: クラス1およびクラス2

圧着検証: LV214-2に基づく圧着のスローモーション  
テスト

圧着プロセス検証: LV214-4に基づく圧着プロセス監視  
RoHS: はい

ハロゲンフリー: はい

### 電氣的仕様

電流 (最大): 5.0A

接触抵抗 (最大): 3ミリオーム

圧着抵抗 (最大): 1ミリオーム

### 機械的仕様

圧着ワイヤーサイズの範囲: 0.13~0.35mm<sup>2</sup>

構造タイプ: ツーピースボディ

オスピンとの接点オーバーラップ (最小): >1.00mm

挿入力 (最大値): 2.9N

耐久性 (最大): 嵌合サイクル20回

### 物理的仕様

ボディ: 銅合金

メッキ: 錫コーティング

バネスリーブ素材: ステンレス鋼

動作温度: -40~+105°C

[www.molex.com/ja-jp](http://www.molex.com/ja-jp)